【発明の名称】宇部市飲食店検索用アプリケーション及びシステム(foodate)

　【要約】

【課題】

その日の気分によって違う料理の情報提案アプリケーションを提供する。

【解決手段】

携帯電話などの端末装置に、情報提供装置が元データからユーザに適した情報群を抽出しネットワークを介して情報群を提供し端末装置が情報群を表示する処理と、

情報提供装置を介して元データから関連する文字で対象の情報を検索し情報群として受け取る処理と、

利用者が情報群から情報を別の情報群に上のスワップで追加する処理と、

利用者が情報群から情報を下のスワップで削除する処理と、

前述の処理を行いたい情報を画面の左右のフリックで切り替える処理と、

画面に表示された情報群の項目を選択することで詳細情報を画面に表示する処理と

画面に表示する情報群を整列する処理と、

を実行させるアプリケーションプログラムである。

【発明の詳細な説明】

　【背景技術】

　　 従来、食事の情報を集める手段としてインターネットを介した既存の

アプリケーションの存在が挙げられる。

(例:google検索や食べログ、ホットペッパーなど)

【発明が解決しようとする課題】

前述した手段はどの店に行くかと計画がはっきりとした場合に有効であるが、

計画があいまいであるときに、ユーザはどの店に行くかを調べるために、既存アプリケーションによる検索の回数の増加や、以前行ったことがある店といった同じ店に行くなどの結果が起きる場合があった。

本アプリはこのような事情を考慮し、目的があいまいなユーザでも検索回数が

少なくかつ異なる店に案内することができるアプリケーションプログラムを提供

することを目的とする。

【問題を解決するための手段】